

福島第二原子力発電所 1号機圧力抑制室内部への物品落下の可能性について

平成 25 年 11 月 6 日
東京電力株式会社
福島第二原子力発電所

平成 25 年 11 月 5 日、協力企業より、当所 1 号機圧力抑制室におけるサブプレッションプール水温度検出器*¹の点検で使用した LED ハンディライト*² 1 本（長さ約 40cm、重さ約 230g）がなくサブプレッションプールに落下した可能性があるとの連絡を受け、同日午前 10 時 30 分、当社として確認しました。

当該の LED ハンディライトは、予備として持ち込んだものであり（点検中は未使用）、作業箇所近傍のベント管*³にマグネットで取り付けていたことから、ベント管の床貫通部の隙間（約 9 cm）から圧力抑制室に落下した可能性があると考えております。

なお、本点検は、本年 9 月 10 日より実施しており、協力企業に確認したところ、10 月 24 日の点検終了後の工具類の員数確認において、全 8 本のうち 1 本の LED ハンディライトが不足していることを確認したものです。今後、経緯を含めて、詳細な調査を行うこととしております。

（公表区分）

公表区分Ⅲ（使用済燃料プール、圧力抑制室等の内部へ物品を落下させた場合）としてお知らせするものです。

以 上

* 1 サプレッションプール水温度検出器

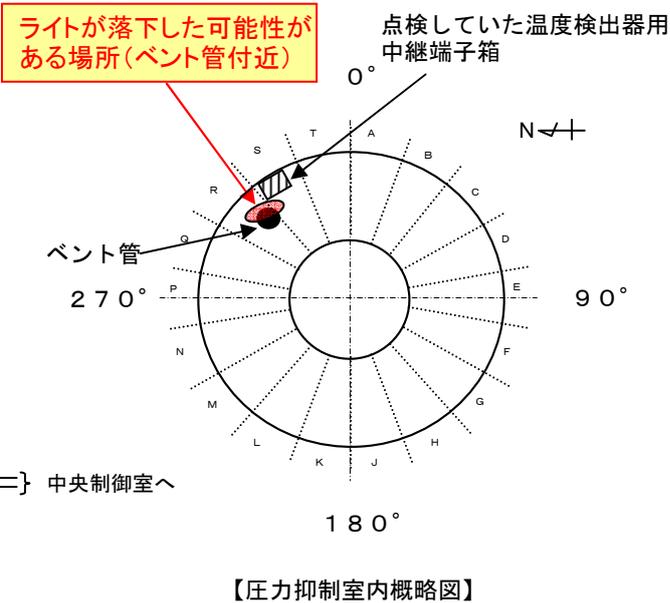
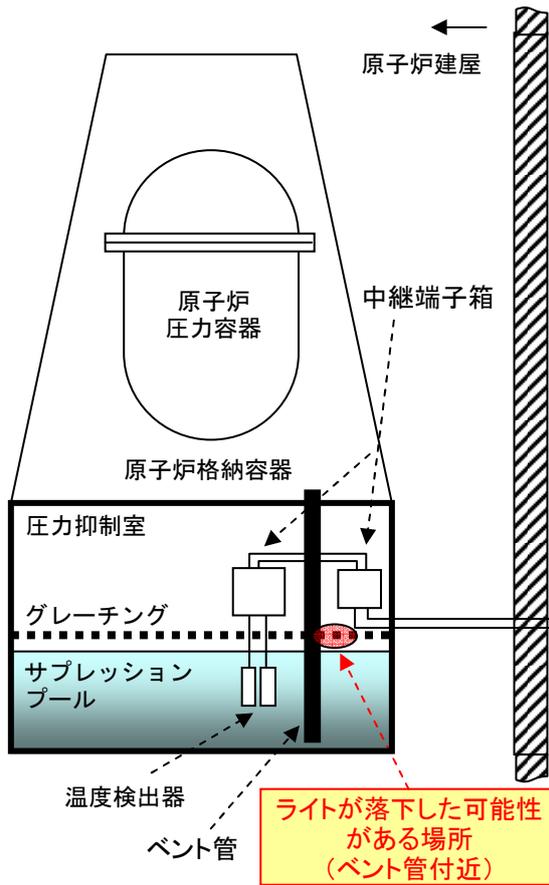
非常用炉心冷却系の水源となるサブプレッションプール水の温度を監視する計器。

* 2 LED ハンディライト

圧力抑制室内の本設照明が停電のため、仮設で準備した作業用照明。

* 3 ベント管

原子炉格納容器と圧力抑制室をつなぐ 108 本の配管で構成されている。



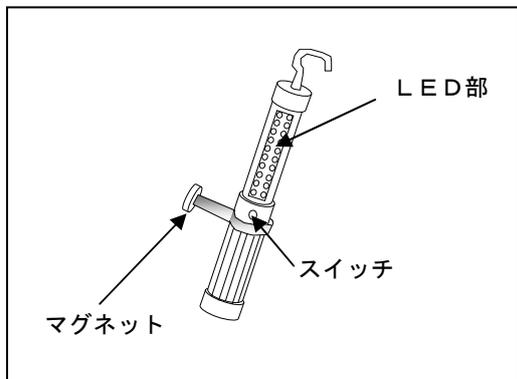
【圧力抑制室内概略図】



【圧力抑制室内 中継端子箱およびベント管】



【LEDハンディライト取付状態 (再現)】



【LEDハンディライトの形状】



＜LEDハンディライト＞
寸法：長さ 約40cm, 横長さ 約8cm
重さ：約230g

福島第二原子力発電所 1号機圧力抑制室 現場概略図